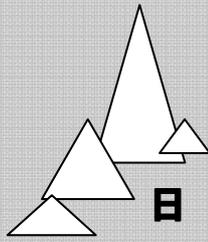


**N**outh **E**ast

**W**est

**S**outh



日本各地の話題

## 今年も国際森林年 「森のスポーツ」広げる チャンス

今年に国連が定める国際森林年。国際森林年は、世界中の森林の持続可能な経営・保全の重要性に対する認識を高めることを目的としている。

我が国でも、国際森林年という節目の年に、現在取り組んでいる森林・林業再生や「美しい森林づくり推進国民運動」、途上国の森林保全等に対する森林保全等に対する国民の理解の促進につなげていくことを目的に、様々な活動を予定している。



INTERNATIONAL YEAR  
OF FORESTS • 2011

### △国際年の認知度に大きな差

去年は国際生物多様性年など3つの国際年でした。名古屋ではCOP10など国際会議が開催され、生物多様性については、マスコミも盛んに取り上げ、それに呼応して多くの学校や団体でも取組が行われたので大変盛り上がりました。しかし、ほかの「文化和解の国際年」や「国際ユース年」であったことを知っていたひとは少なかったのではないかと。

今年には「国際森林年」と「国際化学年」ですが共に盛り上がっている感じ

がしません。農林予算は国、県ともに昨年より減少している。炭酸ガス削減に森林は重要といわれていても、林業の振興には残念ながら関心が薄いようだ。

この事業の日本の担当官庁は「林野庁」。しかし、ここに掲載した森林年のロゴマーク使用許可は国連に出すことになっており、官庁の取組不足の感じがする。

### △オリエンテーリングの役割

この国際年は森林の経営・保全が主目的ですが、これを支える活動として森にふれることや木材を使うことなどがある。多くの人々が森で行われるイベントに参加することは森に親しみを持ってもらうとともに、地域の活性化につながる。国産の材木を使うことは、日本の林業の発展、雇用の促進にもなります。森のスポーツ・オリエンテーリングも国や地域での活動に参加したり、自らイベントを興すことで、オリエンテーリングを通じて森林の理解活動に協力できるはずだ。

(小野 盛光)

## 2017冬季アジア大会 札幌・帯広での開催決定

2017年の第8回冬季アジア大会は札幌・帯広で開催されることが1月31日のアジア・オリンピック評議会で正式に決定した。

スキー・フィギュアスケートなどは札幌で、スピードスケートなどは帯広で開催予定。

まずはスキーオリエンテーリングが採用されるかどうか注目されるが、オリエンテーリング界の相当の努力が必要であろう。

(小野 盛光)

## 中国

### 今年も山焼きに協力

国内最大のカルスト台地として有名な「秋吉台」において春を呼ぶ山焼きが2月26日(土)実施された。

この山焼きを行うことで、草原の原生林化を防ぎ、台上で牧草地や耕作地の維持を行っている。

山口県オリエンテーリング協会は山口県を代表するトレイルンとして当地を使用する関係から山口全日本大会以降、約10年間この行事に協力している。

今年からは行事の危険性から、参加するためには必ず事前講習会参加が必要になったこともあり、有志で参加することにした。

当初、2月20日に予定されていたが、例年になく降雪量が生半端ではなく、1週間の延期となった。この間に乾燥が進み、逆に例年になく燃えやすい条件が出来上がっていた。

午前9時30分の打ち上げ花火を合図に1500ヘクタールの草原の周囲に集合した、地域住民や私達のようなボランティア約1200名が一斉に草原に点火。起伏に富んだ台地に炎が大きな音を立て、縦横に走っていった。炎は風を呼び8~10mの高さにも達し、点火するスタッフが思わず退避する場面もたびたび。炎の消えた後は黒い焼け跡に点在する石灰岩が白く浮かびあがった。

なお、オリエンテーリング協会の15名を含め約100名のスタッフが防火帯を作るなどをして準備した3月5日の夜の山焼きの場所は予想外に燃え広がり、類焼してしまったため、夜の山焼きは開催が出来なくなった。また今年の山口国体の炬火の採火箇所も燃えてしまった。

(山口県協会 福田良雄)